

三方よし

藤枝市立藤枝中央小学校



ともなって変わる量

校長 新村和彦

4年生が、算数の単元「ともなって変わる量」の勉強に入る時に、片方が変わるともう片方が変わるものには、どのようなものがあるか、担任が子どもたちに考えさせたところ、「なるほど!」「おもしろい!」と思うような考えがたくさんありましたので、紹介します。

- ① 宿題をいっぱいやると、頭がよくなる。
- ② めんどくさいと言う回数が増えると、楽しさが減る。
- ③ お腹が減ると、イライラが増える。
- ④ ごみが増えると、魚が減る。
- ⑤ たす1すると、クラスがよくなる。
- ⑥ カカオが高くなると、チョコレートが高くなる。
- ⑦ 仕事が増えると、お金も増える。
- ⑧ 結婚する人が増えると、赤ちゃんも増える。
- ⑨ 戦争が減ると、平和が増える。
- ⑩ 水泳の級が増えると、水の中でできることが増える。
- ⑪ ダイエットの量を減らすと、体重が増える。
- ⑫ 助け合いが増えると、ありがとうも増える。
- ⑬ ノートを使う量が増えると、ノートの残りページが減る。
- ⑭ ゲームをする時間が増えると、充電が減る。
- ⑮ 宿題が増えると、知恵が増える。
- ⑯ ろう下が長くなると、歩ききる時間が長くなる。
- ⑰ 友だちが増えると、会話も多くなる。
- ⑱ 人口が減ると、空き家が増える。
- ⑲ 係をやる回数が増えると、シールも増える。
- ⑳ コロナが減ると、平和が増える。
- ㉑ 本のページが増えると、読む時間も増える。



子どもたちの様々な角度から考える発想の豊かさを、①から㉑の「ともなって変わる量」から感じます。どの「ともなって変わる量」も子どもらしい考えですが、特に④⑤⑨⑫⑲については、その子の優しい人柄と共に、そうなってほしいという願望が表れているような気がします。

子どもたちの考えた2つの量は、表やグラフで表すことは難しく、決して算数的ではありませんが、世の中には、片方が変われば、もう片方も変わるものはたくさん存在するということを改めて子どもたちから学ぶことができました。唯々、感心しました。㉑のように、早くコロナが減って、平和な世の中になってほしいものです。